

2014年9月27日に御嶽山が噴火し、大きな被害をもたらしました。57人が亡くなり、6人が行方不明になっています。亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。また、被害にあった方々にお見舞い申し上げます。

御嶽山の噴火によって、木曽全体に観光客が減少していると言われています。秋の紅葉、冬のスキーなど、観光が「基幹産業」の一つである木曽の町村は、大きな痛手を受けています。風評被害も広がっています。このような状況の中で、私たちの出来ることは何か…。みんな・みんなの会は「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」を合言葉にして、木曽川上下流の交流・連携しよう、と活動してきました。

11月29日（土）に、“木曽に行きましょう～大きな被害を受けている王滝村、木曽町を応援しましょう～”として、バスツアーを行います。皆さん、ご参加ください。

また、名古屋生活クラブとアイチョイスで年末年始に王滝村の赤かぶ漬け、すんき漬け、木曽町の甘酒や味噌、ミネラルウォーターなどを会員販売として取り組んでいただく予定です。みんな・みんなの会も取り組みます。皆さん、応援してください。

<私たちは木曽川のおいしい水でつながっています>

“木曽へ行きましょう…”バスツアー

～長野県王滝村と木曽町の現状を知る～

★日程：2014年11月29日（土）

★集合時間、場所：

〔1〕名古屋方面の方々は、**8時出発（7時55分集合）**。

名古屋市千種区の今池にある事務所前（地下鉄今池駅下車1番出口徒歩5分）

〔2〕可児、多治見方面の方々は、**9時15分出発（9時集合）**。JR多治

見駅北側駐車場

★参加費：一人3千円。小中学生は半額。

★申し込みは、下記の事務所へメール、電話、FAXで。締め切りは11月20日（木）。

王滝村では、職員の人に案内していただいて、噴火からの現状や被害の状況などをお聞きします。王滝かぶの漬物づくりの現場やおみやげもののお店などを見学する予定です。昼食は王滝村でとります。木曽町に移動して、三岳グルメ工房、道の駅みただけで交流します。

・亡くなられた方々へご冥福をお祈りする黙祷、献花を行います。

10月27日、名古屋駅前で木曽や飛騨への応援キャンペーン

御嶽山の噴火から1か月後の10月27日、JR名古屋駅前に12時すぎから大村愛知県知事や河村名古屋市長、木曽から6町村の首長、木曽広域連合、木曽観光連盟、木曽と友好連携している日進市、長久手市、みよし市、豊明市、東郷町、北名古屋市や下呂市、高山市などの関係者が集まり、観光で大きな影響

を受けていることに対する“応援キャンペーン”が行われました。

大村知事は、今回の噴火で多くの方々がなくなったことへの哀悼の意を述べた後、一日も早い復



木曽や飛驒に出かけてくださいと呼びかける大村愛知県知事

＝10月27日、名古屋駅前

興を願っていることや愛知用水をはじめとして木

曽川の恩恵を受けていることを述べました。そして、長野（木曽）や岐阜両県の観光地で大きな影響を受けているので、美しい紅葉などを見に行つて欲しいと呼びかけました。その後駅前で、通行する人びとに観光パンフの配布が行われました。

取材陣とのやり取りの中で、木曽町原町長は、観光地はキャンセルが相次いだ、現在は多少戻ってきていることや今回（下流域で）このように応援していただけることに感謝していると話していました。

また、王滝村の瀬戸村長は、上下流の長い付き合いの中で今日のことをやっていただいたと思っている、紅葉を見に来て欲しい、王滝村にある名古屋御岳休暇村などに来て欲しいなどを語り、経済的にも疲弊していくので長い取り組みが必要となる事態と考えていると述べていました。

<南木曽町豪雨災害義援金のご支援ご協力、ありがとうございました>

皆さんから寄せられた義援金は、11万2千円。みんなの会として、8月27日に南木曽町役場へ出かけ、宮川町長に届けました。皆さん、ありがとうございました。

先日、宮川町長から「皆様からのご厚情あふれるお見舞い、励ましのお言葉とともに心温まる義援金をいただき、深く感謝申し上げます。…今回の災害により、更なる防災対策の必要性を痛感させられました。今後は被災された皆様が安心して暮らしていただけるようまちづくりを進めてまいります。…」とのお礼状が届きました。

七宗町で木曽三川流域自治体サミット開催

木曽三川流域自治体サミットが10月22日（水）、23日（木）の両日、飛驒川の流域自治体である岐阜県七宗町で約150人が参加して開かれました。会場となったのは「木の国七宗コミュニティーセンター」で、ほとんどが木でつくられている趣のある建物でした。

はじめに井戸七宗町長が、七宗町のまちの魅力を話しました。続いて、1970年に七宗町で20億5千万年前の日本最古の石を発見した名古屋大学

特任教授の足立守氏が「木曽三川流域の地質の特徴」と題して講演。「美濃帯、チャート、放散虫、マンガンノジュール、上麻生礫岩、日本最古の石、先カンブリア時代、ジルコン」をキーワードとしてあげられ、一つひとつ詳しく話されました。お話の中で、『木曽川流域図』にも触れられ、川の地図として良くできているとのことのお誉めの言葉をいただきました。その後、意見交換会や交流会が繰り広げられました。

☆日本最古の石は、七宗町にある「日本最古の石博物館」に展示してあります。

☆七宗町のシンボルである天然記念物の1千近くあるポットホールは、飛水峡にあります。

水源の里を守ろう 木曽川流域みんなの会

連絡先：〒464-0075 名古屋市千種区内山3-7-11 斎藤事務所気付

TEL 052-745-1001 FAX 052-741-2588 mail:suigennosato@gmail.com